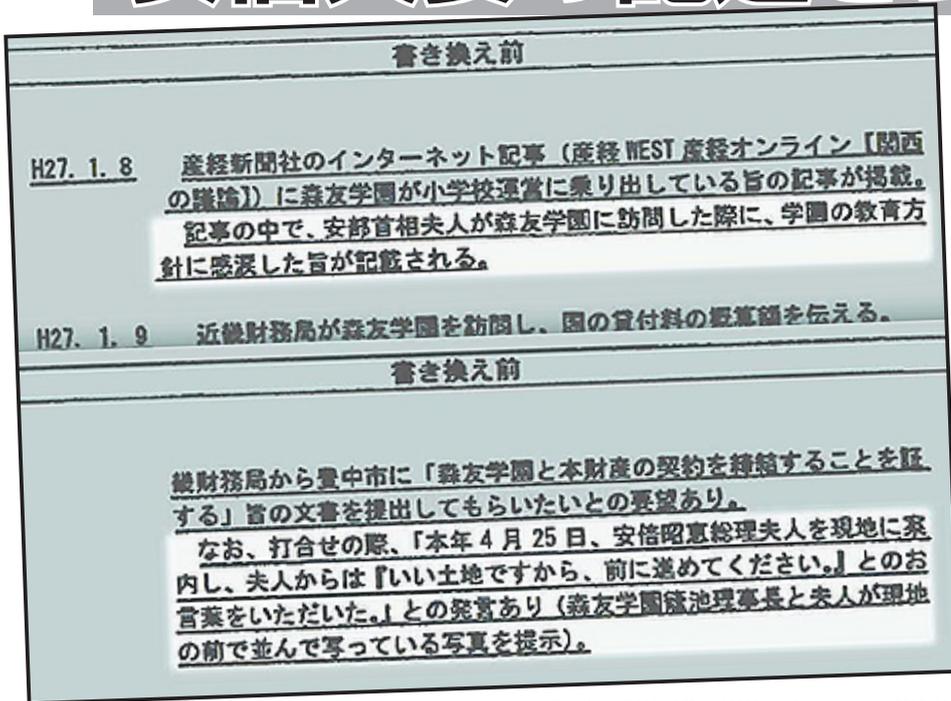


森友 文書

やっぱり 改ざんあった



安倍夫妻の記述ざっくり削除



学校法人「森友学園」との国有地取引をめぐる決裁文書改ざん問題で、財務省は3月12日、参院予算委員会理事懇談会などに、14点の文書で数十カ所の改ざんを行っていたことを認める調査内容を報告しました。改ざんによって削除した部分には、安倍晋三首相や妻の昭恵氏、複数の政治家の名前、「本件の特殊性」などの記述がありました。安倍政権が組織ぐるみで改ざん、隠蔽(いんぺい)にかかわっていた疑いがより濃厚になりました。

▲上図をご覧ください。改ざん前の文書には、「安倍首相夫人が森友学園に訪問した際に、学園の教育方針に感涙」などの文言や、昭恵氏が「いい土地ですから、前に進めてください」と述べたという籠池被告の発言の記述がありましたが、いずれも改ざん後の文書では削除されました。

他にも、籠池被告が関与していた「日本会議大阪」の連携組織の日本会議国会議員懇談会に「特別顧問として麻生太郎財務大臣、会長に平沼赳夫議員、副会長に安倍晋三総理らが就任」していたとの記述が、そっくり削除されていました。

国民・国会あざむき民主主義を壊す暴挙

安倍内閣は総辞職せよ!!

ここまで事態が明らかになったのに麻生大臣は一部の職員に責任を転嫁し、安倍首相もまるで他人事のような発言をしています。絶対に許せません。真相解明、安倍政権打倒へ力をあわせましょう。



参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ

吉良よし子

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

森友文書 改ざん

安倍内閣は 総辞職を

官邸前抗議

吉良
よし子
参院議員も
参加

安倍内閣の総辞職を求める国民の怒りの声が全国各地で広がっています。首相官邸前では3月12日夜、市民有志が緊急抗議を呼びかけました。身動きが取れなくなるほど多くの人が官邸前に駆けつけ、「改ざんするな」「安倍政権は全員やめろ」「佐川じゃなくて、麻生がやめろ」「責任とれよ」のコールと、ドラムの音が鳴り響きました。

行動には吉良よし子参院議員らも参加。参加者とともにコールしました。

▲官邸前行動に参加する吉良よし子参院議員（中央）ら

日本共産党